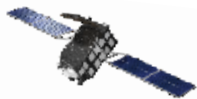
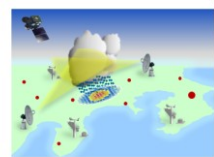


○ 「i-Construction」の取組で得られる3次元データを活用し、さらに官民が保有する様々な技術やデジタルデータとの連携を可能にするプラットフォームの構築により、新たな価値を創造。

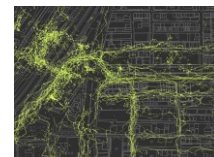
## 国土交通データプラットフォーム



出典：qzss.go.jp



気象データ

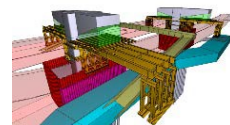


交通(人流)データ

地図・地形データ



施設・構造物データ



エネルギーデータ



防災データ



出典：松阪市HP

新技術 × 官民データ

### 高度な防災情報

3次元化された都市データと洪水予測を連携した防災情報の提供により、住民が直感的にとるべき行動を理解することにより、住民主体の避難行動等を支援。



出典：荒川下流河川事務所

### 新たなモビリティサービス

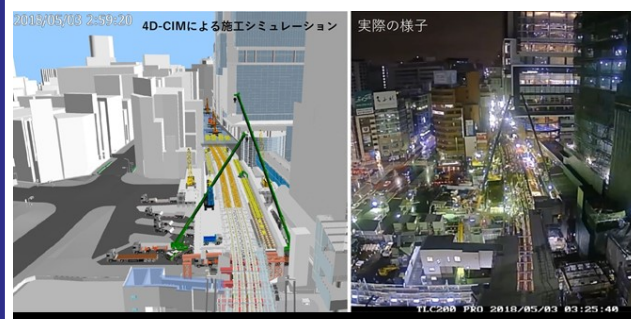
インフラと交通データの連携で移動ニーズに対し最適な移動手段をシームレスに提供する等、新たなモビリティサービスの実現。



出典：トヨタ自動車 e-palette

### 新しいインフラ社会

インフラ自体が情報を持つことで通行者への影響を最小限にする施工や、維持管理が高度化されるインフラ社会の実現。

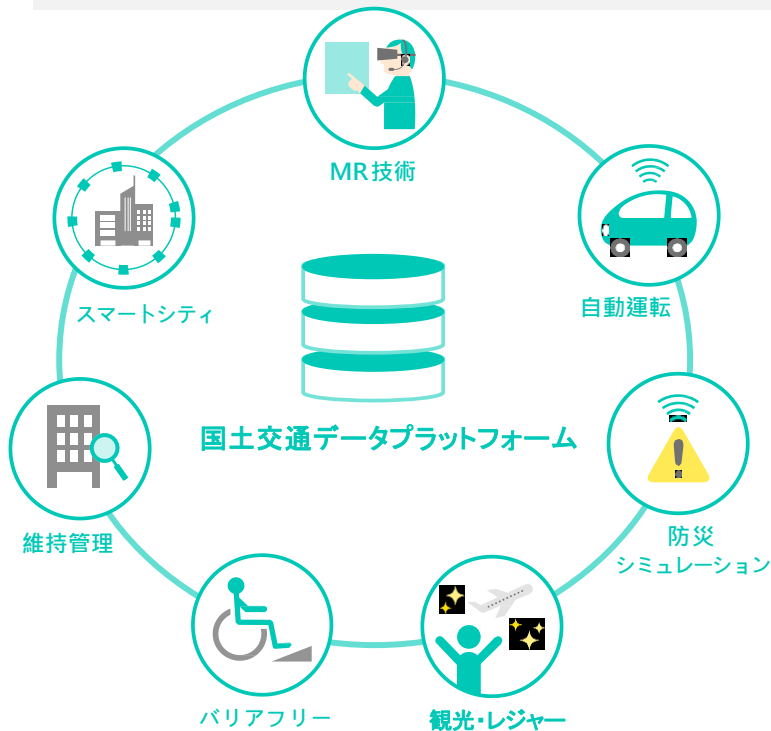


出典：東志建設株式会社

# 国土交通データプラットフォームの利活用促進

- 産学官の多様な主体から、データプラットフォームの利活用方策の提案等を行っていただくため、国土交通データ協議会を設置。(令和2年8月末時点で101者が参加)
- 加えて、新たな価値の創造を目指しオープンデータチャレンジの開催等を企画し、データプラットフォームの幅広いデータ連携や活用に向けた取り組みを推進。

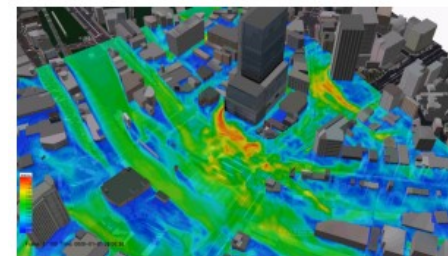
## 国土交通データプラットフォームの活用が想定される分野



※国土交通データプラットフォームHP  
[http://www.mlit.go.jp/tec/tec\\_tk\\_000066.html](http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000066.html)

## ○都市環境の改善

都市構造物データに、リアルタイムな気象データ等を連携することにより、熱中症に関する予報等のサービス提供への活用が期待。



出典:ESRIジャパンウェブサイト  
 (風況シミュレーションのイメージ)

## ○物流の効率化

標高や都市構造物データに、物流・商流に関するデータを組み合わせることで、例えば、ドローンによる荷物配送の検討など物流の効率化が期待。



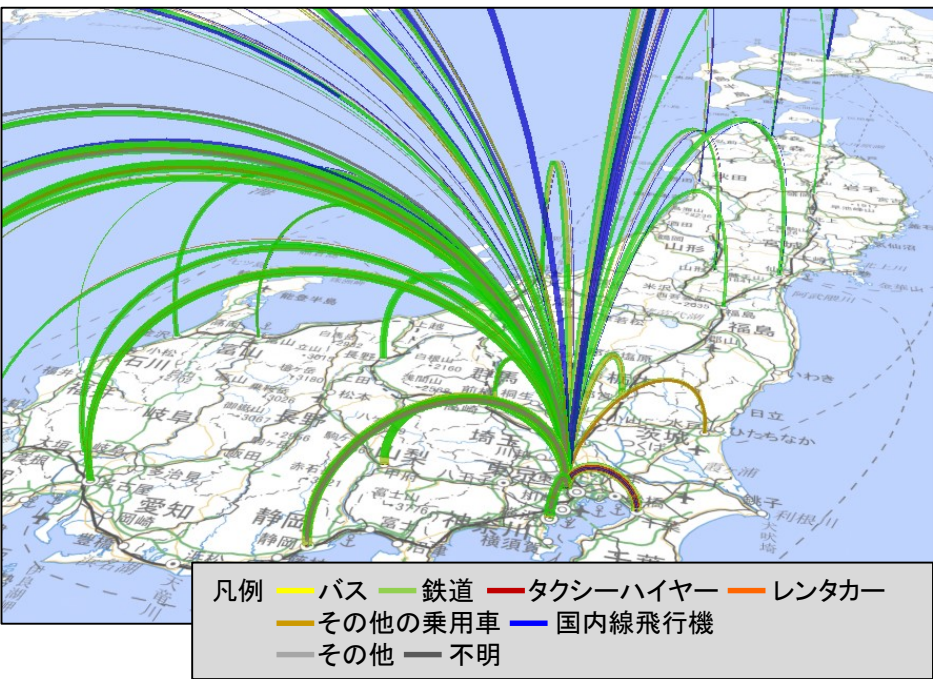
出典:経済産業省ウェブサイト

## ○観光振興の推進

建築物やインフラ等の3次元データに、歴史やイベント情報等を付与することで、リアリティのあるVR(仮想現実)やAR(拡張現実)体験が可能となり、ゲーム業界との連携などが期待。







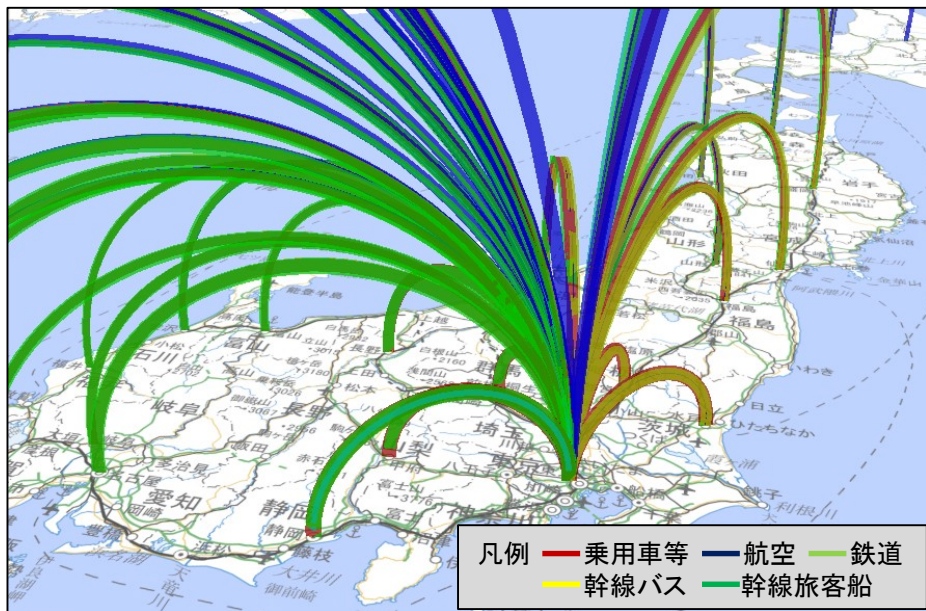
**【表示イメージ】**

出発地から目的地までの移動手段(航空機、鉄道、船、バス、乗用車)別に曲線として表示、流動量が大きくなるほど太線で表現している。

出発地及び目的地は都道府県庁所在地を設定している。

タイトル	FF-Data (訪日外国人流動データ)
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪日外国人旅行者の国内訪問地間の移動や利用交通機関等の実態が把握可能なデータ</li> <li>・キーワード:交通、訪日外国人、交通機関、周遊ルート</li> </ul>
組織	国土交通省総合政策局総務課 (総合交通体系)
日付	2014年、2015年、2016年、2017年、2018年
場所	全国
ライセンス	政府標準利用規約2.0

# 新規連携データの概要(全国幹線旅客純流動調査)



## 【表示イメージ】

出発地から目的地までの移動手段(航空機、鉄道、船、バス、乗用車)別に曲線として表示、流動量が大きくなるほど太線で表現している。

出発地及び目的地は都府県庁所在地を設定。ただし、北海道は4つのエリア(道南、道央、道北、道東)に分割し、それぞれ函館、札幌、旭川、北見を基点として設定している。

タイトル	第1～6回 全国幹線旅客純流動調査
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の幹線交通機関における旅客流動の実態を定量的かつ網羅的に把握するための調査</li> <li>キーワード: 交通、純流動、代表交通機関</li> </ul>
組織	国土交通省総合政策局総務課 (総合交通体系)
日付	1990年度、1995年度、 2000年度、2005年度、 2010年度、2015年度
場所	全国
ライセンス	政府標準利用規約2.0

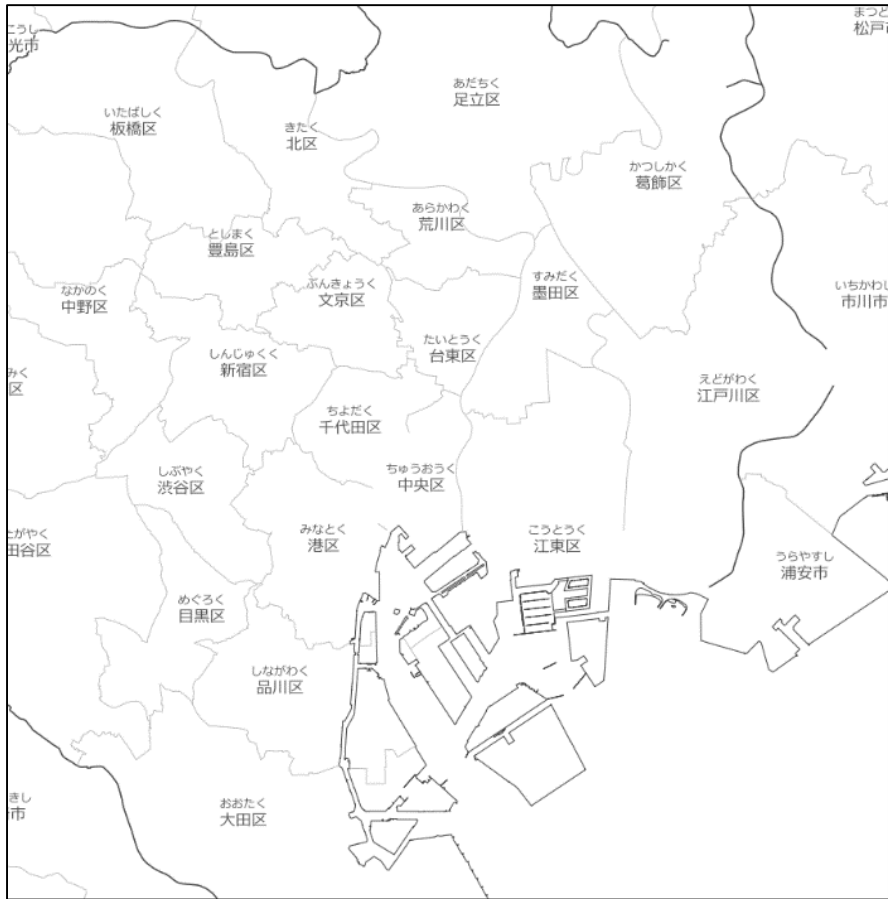


# 新規連携データの概要(地理院タイル)

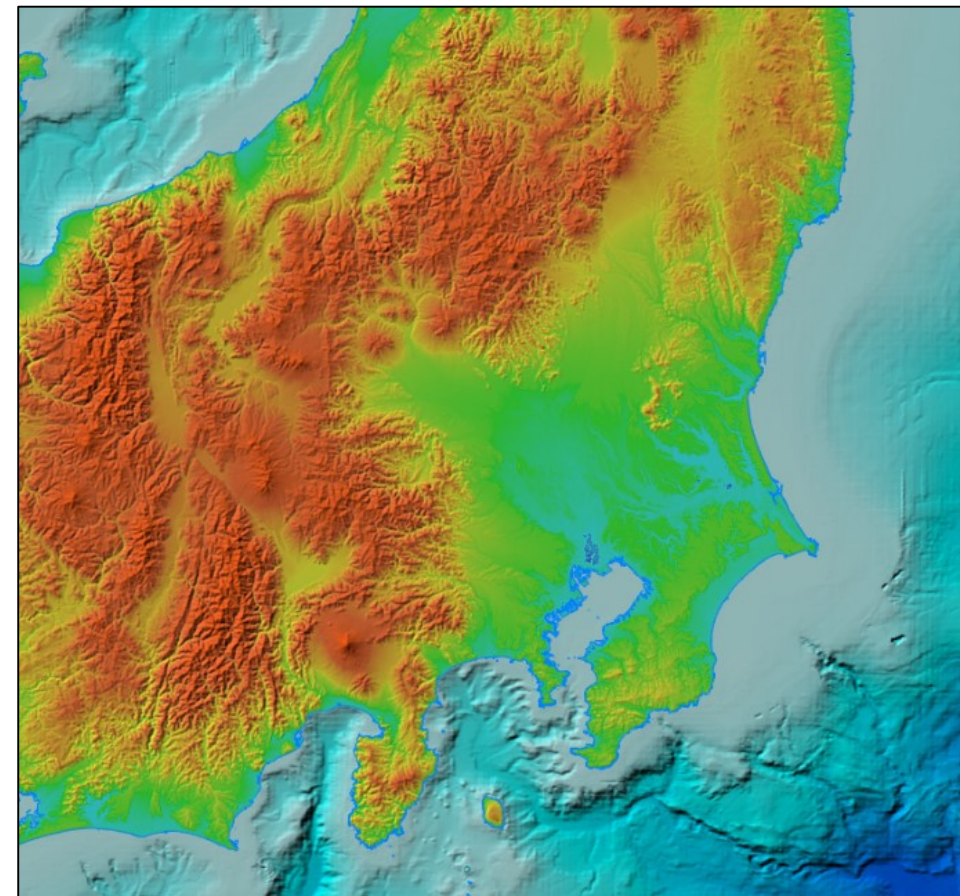


タイトル	標準地図
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子地形図25000に似た配色の地図</li> <li>・キーワード: 地理院地図、電子国土基本図、地形、地名情報、地図記号、国土管理、防災、減災</li> </ul>
組織	国土交通省国土地理院
日付	随時更新
場所	全国
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約

# 新規連携データの概要(地理院タイル)

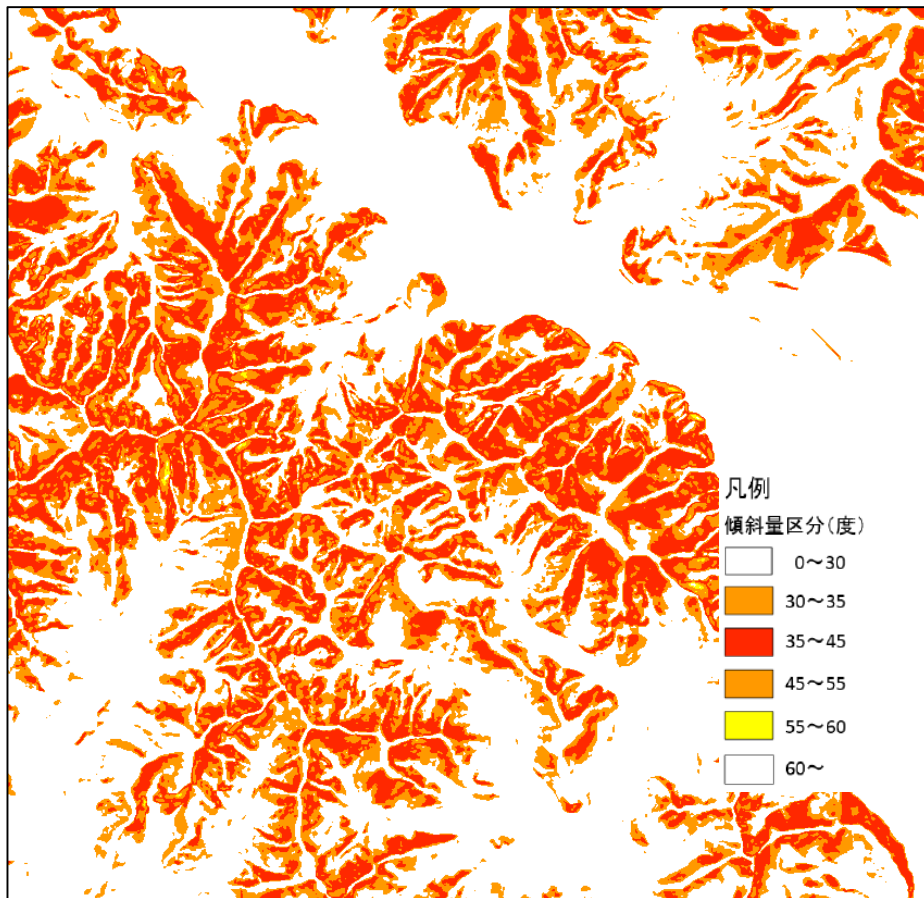


タイトル	白地図
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸線と、都道府県・市町村境界のみを表示した地図</li> <li>・キーワード: 地理院地図、電子国土基本図、地名情報、国土管理、防災、減災</li> </ul>
組織	国土交通省国土地理院
日付	随時更新
場所	全国
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約



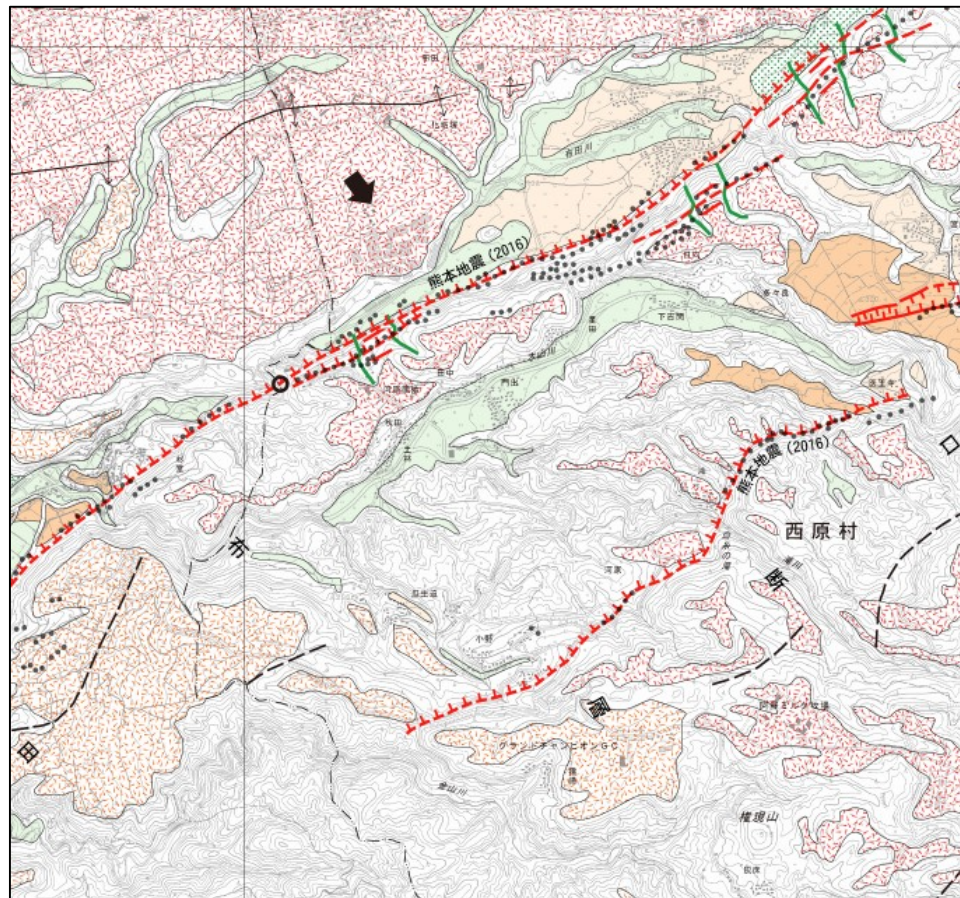
タイトル	色別標高図
説明	<ul style="list-style-type: none"><li>・標高に応じて色分けした地図</li><li>・キーワード: 地理院地図、地形、標高、高低差、起伏、凹凸、防災、減災</li></ul>
組織	国土交通省国土地理院
日付	随時更新
場所	全国
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約





タイトル	全国傾斜量区分図(雪崩関連)
説明	・地表面の傾きを区分した地図 ・キーワード: 地理院地図、地形、傾斜、起伏、雪崩、防災、減災
組織	国土交通省国土地理院
日付	随時更新
場所	全国
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約





<b>タイトル</b>	活断層図(都市圏活断層図)
<b>説明</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活断層の詳細な位置などを表した地図</li> <li>・キーワード: 地理院地図、地形、活断層、地震、液状化、地すべり、防災、減災</li> </ul>
<b>組織</b>	国土交通省国土地理院
<b>日付</b>	2006年～ 適宜追加・改訂
<b>場所</b>	国内の一部地域
<b>ライセンス</b>	国土地理院コンテンツ利用規約

# 新規連携データの概要(地理院タイル)



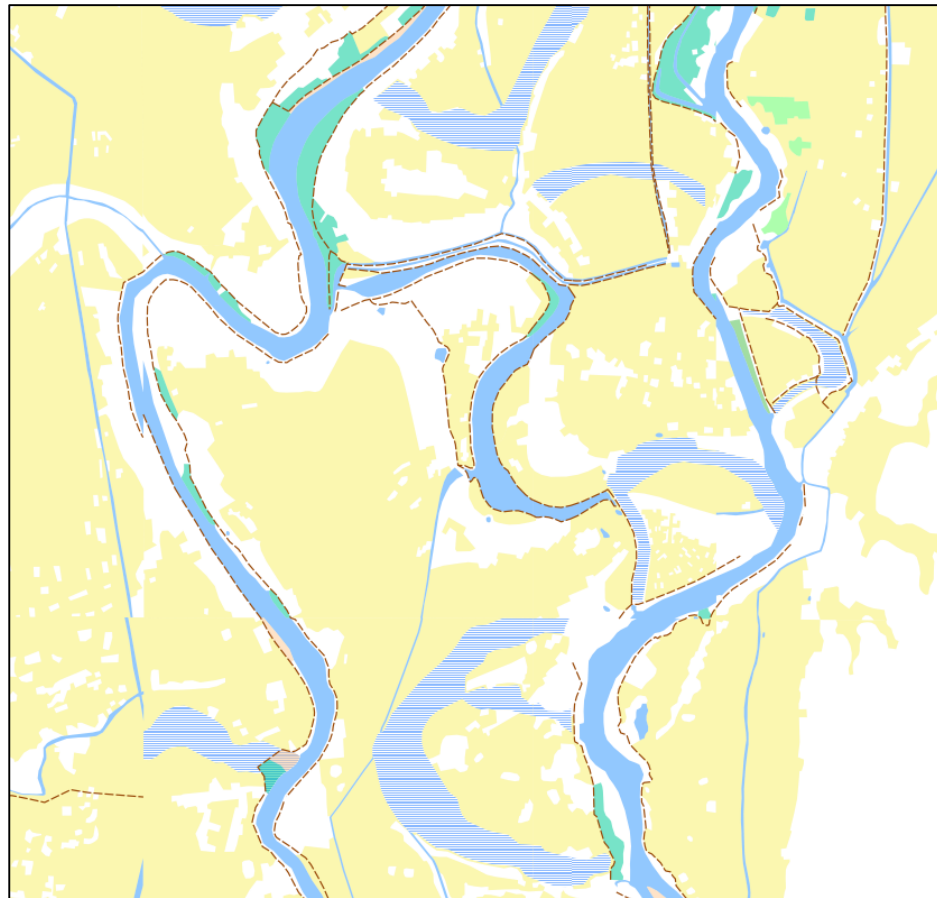
タイトル	治水地形分類図 初版
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一級河川を対象として、地形分類(扇状地、自然堤防、旧河道、後背湿地など)や堤防などの河川管理施設を示した地図</li> <li>・キーワード: 地理院地図、地形、治水、水害、河川堤防、防災、減災</li> </ul>
組織	国土交通省国土地理院
日付	1976年～1978年
場所	国内の一部地域
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約





タイトル	治水地形分類図 更新版
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一級河川を対象として、地形分類（扇状地、自然堤防、旧河道、後背湿地など）や堤防などの河川管理施設を示した地図</li> <li>・キーワード: 地理院地図、地形、治水、水害、河川堤防、防災、減災</li> </ul>
組織	国土交通省国土地理院
日付	2007年～ 適宜更新
場所	国内の一部地域
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約





タイトル	明治期の低湿地
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治期の地図から、当時の低湿地の分布を示した地図</li> <li>・キーワード: 地理院地図、地形、低湿地、液状化、土地利用、防災、減災</li> </ul>
組織	国土交通省国土地理院
日付	関東: 1880年～1886年 (明治13年～19年) 中部: 1889年～1911年 (明治22年～44年) 近畿: 1884年～1890年 (明治17年～23年)
場所	関東、中部、近畿の一部地域
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約



令和2年7月豪雨における人吉市周辺の浸水推定図

タイトル	災害名、火山名
説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に撮影した写真や浸水推定図等</li> <li>・キーワード: 地理院地図、災害、地震、噴火、斜面崩壊、地すべり、土石流、津波、空中写真、正射画像、浸水推定図、火山災害対策用図</li> </ul>
組織	国土交通省国土地理院
日付	災害発生時
場所	被災箇所周辺
ライセンス	国土地理院コンテンツ利用規約



道路改修工事  
東京都多摩市

タイトル	道路改修工事(29南東-唐木田)
説明	<p>工事延長L=937m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土工 1式</li> <li>路床安定処理工 7,168㎡</li> <li>街きょ工(155SF)574m</li> <li>街きょ用集水桝 34基</li> <li>縦断側溝 1257m</li> <li>U型側溝(240) 34m</li> <li>U型側溝(300) 524m</li> <li>中央帯縁石工 1844m</li> <li>車両用防護柵 838m</li> <li>横断防止柵 277m</li> <li>車道舗装50型 14,544㎡ (うちICT舗装工1,840㎡)</li> <li>車道舗装35型 1,602㎡</li> <li>区画線工 4,744m</li> <li>歩道舗装14型(透水) 442㎡</li> <li>ブロック積擁壁 2箇所</li> <li>構造物取壊し工 1式</li> </ul>
組織	東京都南多摩東部建設事務所
日付	2017-07-03 ~ 2019-05-07
場所	東京都多摩市
ライセンス	閲覧のみ





低水護岸整備工事  
東京都江戸川区

タイトル	新中川低水護岸整備工事 (その58-3)
説明	工事延長L=519m、施工延長L=477.6m 河川土工 水中掘削工 9,090m <sup>3</sup> 陸上掘削工 1,688m <sup>3</sup> (うちICT土工364m <sup>3</sup> ) 矢板護岸工 鋼矢板工 77.5m 笠コンクリート工 454.6m 高水敷整備工 1式 浸食防止対策工 1式 撤去工 1式 仮設工 1式
組織	東京都江東治水事務所
日付	2017-06-28 ~ 2018-03-15
場所	東京都江戸川区
ライセンス	閲覧のみ